



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

厚生労働省補助事業

第2回

ハイブリッド
開催

2022年度 後期 リカレント研修会

「要介護者の口腔健康管理の基礎と実際 —多職種連携とQOLの向上—」

LIVE配信：2022年12月22日(木) 15:00～16:30

オンデマンド配信（録画視聴）：2022年12月26日(月)～2023年1月4日(水)



医療法人社団健口会
長畑歯科医院
院長 長畑 光 先生

講演内容

- 地域包括ケアシステム
- 歯科衛生士の役割
- 訪問歯科の現状
- 多職種連携、QOLの視点
- 要介護者を知る・理解する
高齢者の身体的・医学的特徴
情報収集
- 日常生活活動、障害高齢者の日常生活自立度
認知症高齢者の日常生活自立度
- 介護保険、介護認定を知る
- 口腔健康管理の課題分析、アセスメント
- 口腔健康（口腔衛生・口腔機能）管理の実際
（脳血管障害の場合、認知症を伴う場合、終末期の場合など）
- 口腔健康管理のワンポイントアドバイス

講演の要約

口腔衛生や口腔機能の管理は、食べるということだけでなく生きる力やQOLの向上に寄与することが明らかになってきており、地域における高齢者に対する歯科診療の必要性および重要性は年々高まっています。

特に、要介護高齢者の状態や生活環境はさまざまで、口腔内や全身状態だけでなく生活をみる視点、治療だけでなく広義の予防からの視点、他職種との情報の共有や関わり方など、幅広い包括的視点が歯科訪問診療において必要となっており、歯科衛生士の職能としてもその重要性は年々高まっています。

しかし、歯科診療が必要であるにもかかわらず、後期高齢者の受診率は急速に低下するという実態があり、外来通院のできない高齢者に対応する訪問診療の実績のある歯科医院は約2割といった状況です。

そこで、訪問歯科診療の実際と課題について述べ、高齢者の生活を支える視点からのアプローチと、そのための知識と技術をみなさんと一緒に考え、訪問現場で要介護高齢者の口腔健康管理の問題に直面したときに、その解決の糸口がわかるような講演にしたいと思います。